



平成 20 年 10 月 1 日

各 位

会 社 名 株式会社エスケイジャパン
代 表 者 名 代表取締役社長 久保 敏志
(コード番号 7608 東証・大証 第一部)
問 合 せ 先 取締役管理部長 川上 優
(電話番号 06-6765-0670)

当社株式の時価総額についてのお知らせ

当社株式は、平成 20 年 9 月において、時価総額が 20 億円未満となりましたので、今後の見通し等についてお知らせいたします。

記

1. 当社株式の時価総額について

東京証券取引所の有価証券上場規程第 311 条第 1 項第 4 号および大阪証券取引所の上場株券の市場第一部銘柄から市場第二部銘柄への指定替え基準第 2 条第 4 号では、9 ヶ月（事業の現状、今後の展開、事業計画の改善その他東京証券取引所または大阪証券取引所が必要と認める事項を記載した書面を 3 ヶ月以内に東京証券取引所または大阪証券取引所に提出しない場合にあっては、3 ヶ月）以内に毎月の月間平均時価総額および月末時価総額が 20 億円以上とならないときは、市場第二部銘柄に指定替えになる旨規定されております。

(ご参考)

- ① 東京証券取引所における当社株式の平成 20 年 9 月の月間平均時価総額 1,953,940,326 円
- ② 東京証券取引所における当社株式の平成 20 年 9 月末日の時価総額 1,905,875,484 円
平成 20 年 9 月 30 日終値 : 228 円
平成 20 年 9 月 30 日上場株式数 : 8,359,103 株

2. 今後の見通しについて

当社は、よりよい商品を企画販売し、利益を生み出すための基盤づくりを強化することが不可欠であると認識し、お客様のニーズを的確に把握し、当社グループの商品・店舗をご利用いただくための諸施策とともに、卸売事業の積極的な展開と、小売事業の店舗拡大および取扱商品の充実により、増収増益に向けた基盤づくりをすすめてまいりました。しかしながら、当社の主力販売先であるアミューズメント施設では、家庭用ゲーム機の好調やガソリン価格の高騰で客足が遠退いた等の要因により、大手アミューズメント施設の既存店売上高が前年比で 2 桁台の落ち込みとなるケースも珍しくないなど、大半の企業が苦戦を強いられることとなりました。また、小売事業では、取扱商品の見直しを進めながらマーチャンダイジング改革を推進し、同時に既存店舗の改革も順次進めましたが、収支のバランスがとれない状況が続きました。さらに、家電商品販売からの撤退、高額インポート商品の縮小とそれに伴う店舗撤退、加えてそれをカバーする店舗の新規出店ができていないことから、売上高も減少しております。

現在当社グループでは、こうした経営環境の変化に左右されない経営体質改善を基本とする対応策を策定し着手することにより、東京証券取引所および大阪証券取引所市場第一部上場を維持するよう努めてまいります。

また、今後 3 ヶ月の間に東京証券取引所および大阪証券取引所へ「事業の現状、今後の展開、事業計画の改善その他東京証券取引所または大阪証券取引所が必要と認める事項を記載した書面」を提出する予定です。

株主、投資家のみなさまにおかれましては、何卒なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上